

## 事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	いそべ 磯辺地区																										
事業箇所	いそべしたじちよう 豊橋市磯部下地町地内																										
事業のあらまし	<p>本地区の対象地域は、愛知県の東部に位置し、二級河川梅田川の流域面積 168.9ha の低平な地域である。地区内の排水は、2か所の排水機場（磯辺第1排水機場、磯辺第2排水機場）により、二級河川梅田川へ強制排水していた。</p> <p>しかし、流域開発による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい磯辺第1排水機場と磯辺第2排水機場を更新整備することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、2006年度からたん水防除事業磯辺地区を実施し、2016年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した既設排水機場を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 （計画基準雨量 327mm/3日、1/20年確率雨量）</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	14.7億円		■工事費 13.7億円、■用補費 0.3億円、■その他 0.7億円																								
事業期間	採択年度	2006年度	着工年度	2006年度	完成年度	2016年度																					
事業内容	排水機場 2か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了年度からの5年間で、最大3日連続雨量は2019年10月11日～10月13日に214.0mm（最大1時間雨量 22.5mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 <span style="float:right;">（豊橋観測所降雨データ）</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>327.0mm</td> <td>99.5mm</td> <td>180.5mm</td> <td>109.0mm</td> <td>214.0mm</td> <td>176.5mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間降雨量）</td> <td>（78.7mm）</td> <td>（37.5mm）</td> <td>（21.5mm）</td> <td>（9.0mm）</td> <td>（22.5mm）</td> <td>（37.0mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大3日連続雨量、最大1時間雨量共に計画基準雨量以下であるものの事業完了以降、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2016	2017	2018	2019	2020	最大3日連続降雨量	327.0mm	99.5mm	180.5mm	109.0mm	214.0mm	176.5mm	（最大1時間降雨量）	（78.7mm）	（37.5mm）	（21.5mm）	（9.0mm）	（22.5mm）	（37.0mm）
	区分	計画	2016	2017	2018	2019	2020																				
最大3日連続降雨量	327.0mm	99.5mm	180.5mm	109.0mm	214.0mm	176.5mm																					
（最大1時間降雨量）	（78.7mm）	（37.5mm）	（21.5mm）	（9.0mm）	（22.5mm）	（37.0mm）																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項 目		計 画	実 績 ( 2021 )	備 考
事 業 期 間		2006～2012 ( 7 年間 )	2006～2016 ( 11 年間 )	
事 業 費 (億円)	工事費	14.7	13.7	
	用地補償費	1.0	0.3	
	その他	1.1	0.7	
	合 計	16.8	14.7	2.1 億円減
効 果 の 算 定 要 因	流域面積	168.9ha	168.9ha	増減なし
	農地面積	99.1ha	93.8ha	5.3ha 減
	宅地等面積	69.8ha	75.1ha	5.3ha 増

【事業期間に対する評価】

計画時より事業期間を4年延長したが、既存の排水機場を活かしながら工事を進めたため、湛水被害等は発生しておらず、期間延長による影響はなかった。

【事業費に対する評価】

工事費の積算精査及び工事の入札結果（請負差額）等により、事業費が2.1億円減で事業完了できた。

【効果の算定要因に対する評価】

計画時と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。  
排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用し、既設の排水路、遊水池に生息する魚類が、工事施工箇所に入らないように注意して施工することにより、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。

Ⅲ 対応方針（案）

今後の事後評価の必要性

主要目標が計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。

改善措置の必要性

主要目標が計画通り達成されているため、改善措置は不要である。

同種事業に反映すべき事項

工事中においても湛水被害防止に配慮するため、既設機場の排水機能を活かし、予備排水により降雨に備えるなどの対応が必要であった。今後同種事業においても、排水機場管理者と調整し、こうした対応を行うことが重要である。

Ⅳ 事業評価監視委員会の意見

磯辺地区の対応方針（案）[改善措置等必要なし] を了承する。

Ⅴ 対応方針

改善措置等必要なし